

**-渋谷PARCO 4Fが11/3(木祝)大規模リニューアル-**

「新しい商業施設のあり方とは?」「サステナブルとは?」

2つのテーマにて、ヴィンテージ/インテリア/アート/ライフスタイルを編集した新フロアへ  
～オルタナティブスペース『SKWAT』が渋谷PARCOを占拠～

KANE ZAN-MAI

Archives



PART OF NATURE

NatureLab  
Store

tay

Từ Bàn Tay Đến Bàn Tay, Tay Trong Tay, Truyền Lại.  
From Hand To Hand, Hand In Hand, Handed Down.

ファッション・アート・カルチャーをコア要素として走り続ける渋谷PARCOでは、コロナ禍を経て『商業施設は社会との密接な関係のもとに成り立つ』という点を重視した新しい売場を作ります。

渋谷PARCOは2019年のリオープン時より、唯一無二性を追求すべく、フロアごとに付加価値性の高いテーマを軸にしたMD編集を行っており、2021年には5Fを「都市型アウトドア」をテーマにした『PARCO OUTDOOR PARK』に刷新しました。

今回4Fでは、これまでの商業施設の当たり前を見直し、より本質的かつ継続的にファッション・アート・カルチャーを提案するための売場「SKWAT/TORU KASE/SHIBUYA PARCO」を作ります。また開業時より意識してきた「サステナブル」を目に見える形で魅力的な売場として提案します。

2つのテーマで作られた売場には、個性あふれるヴィンテージウェアやインテリア、挑戦的なアーティスト達が手掛ける挑戦的なショップ、世界中から集めた鉱石やフラワーベースや古道具、糸レベルから再生した生地による100%リサイクルファッション、品質に徹底的にこだわったアイウェア（眼鏡）やデニムなどが並びます。

**■「SKWAT」による渋谷PARCO占拠が拡大。共用空間と売場が一体化したなか7つのショップエリアが登場**

従来の商業施設では、新規テナントが出店する際に莫大なコストをかけて内装を作りこむことが一般的であり、多くの内装投資が必要となるため、若いスタートアップブランドやクリエイターの出店ハードルの一つとなっていました。また、このコストを回収するため、3～5年は継続して出店を続ける必要があり、柔軟性のある取り組みがしづらいという状況がありました。リニューアルで新たなテナントが出店する際には再度内装を作りかえる必要があるため、そのたびに廃棄物が出てしまうことも、サステナブルな商業施設の実現という点では課題となっていました。

こうした背景から、渋谷PARCOでは、「SKWAT」、グラフィックデザイナー・加瀬透氏と共同で「仮設的広場」の在り方を模索し始めました。今年2月には先行して「VCM MARKET BOOTH」をオープンし、この中で定期的にショップが入り替わりながら出店できる仕組みを取り入れました。

今回のリニューアルでは、「SKWAT4202122」が新しい区画「419」を吸収し「SKWAT419202122」に成長。「VCM GALLERY」が新たにオープンし、話題性のある企画を打ち出します。

また、4Fの東側に「SKWAT41329-231」が誕生し、さらに渋谷PARCOを占拠します。第一弾のコンセプトである「上書きのしやすい軽快さ」と、どんなコンテンツが入っても色を自由に足せる柔軟性はそのままに、展開するエリア・ブランドを拡大。「共用部と占有部の境界（リースライン）を可視化することで、逆説的に内外の関係性を曖昧、逆転させる」とともに、「購入目的（消費活動）以外での公園（レストスペース、待ち合わせ場所）としての機能を付加するため、「ベンチ」という装置を延長、拡散させていく」を新たなコンセプトとして採用。売場内にとどまらず、館内の共用スペースにも「ベンチ」を設置し、お客様により多様な目的で利用してもらえる場作りに取り組みます。単管をベースに作られたブースには、「金三味」「Archives」「GMKR」「PART OF PART OF NATURE」「NatureLab Store」「tay (POP UP)」の6店舗がオープン。渋谷PARCOへのインテリアショップの本格導入は、今回の改装が初となります。

【本件に関するお問合せ】

パルコ広報事務局（株式会社イニシャル内） 担当：羽切・日出・岸本・西野  
E-mail: [parco@vectorinc.co.jp](mailto:parco@vectorinc.co.jp) TEL: 03-6821-5730 FAX: 03-5572-6065  
株式会社パルコ 渋谷店営業課 深見 [fuka-sayu@parco.jp](mailto:fuka-sayu@parco.jp)

## 「SKWAT41329-231」ゾーンでの 6ショップ一覧

4F 東側エスカレーターに接する「SKWAT」ゾーンでは、新たに6店舗のインテリア、アート、ヴィンテージに関するショップが登場。今回の改装のテーマを象徴する区画になります。

<出店ブランド詳細>

### 金三味 (アートグッズ)

アーティスト・コレクティブChim ↑ Pom from Smappa!Groupが幅広いアーティストのオリジナルグッズを開発し、実験的な「商品」を販売するショップです。



### Archives (インテリア雑貨)

<CIRCUS Inc.> を主宰する鈴木善雄と引田舞による膨大なストックの一部と思考回路を覗くようなアーカイヴが積み上げられたショップ。博物館のバックヤードをイメージした什器に木、土、金属、紙、石などのマテリアルによって区分されたものを保存・販売します。



### GMKR (インテリア雑貨)

GMKR(ゴミカラ)は、廃棄家具を分解し、芸術(文学・音楽etc.)と神様(偶然性・神秘)の力により再構築をするUneven Structure Furnitureです。均一(even)、大量生産(mass production)の対極、そして分類(categorize)できない不均一(uneven)であることを意味します。



### PART OF PART OF NATURE (フラワーベース)

アメリカやヨーロッパから直接買い付けた、現地の空気感を纏う唯一無二のヴィンテージ花瓶や雑貨。なかでも花瓶のラインナップはとても多く、Life with Flower shopとしてお花も一緒にお選びいただけるお店です。



### NatureLab Store (コスメ)

「NatureLab Store」はネイチャーラボ初となる実店舗。ヘアケア・スキンケアなどのビューティブランドやくつろぎのあるライフスタイルに寄り添うホームケアブランドを取り揃え、ブランドの鮮やかな世界観、贅沢な空間を演出しております。季節に合わせたイベントや商品展開、EC限定商品などリアル店舗ならではの演出を展開します。



### POP UP SHOP : tay (インテリア雑貨・アクセサリー)

第1弾には、ヴィンテージショップ「tay」が登場。「手から手へ、手を取り合って、受け継がれる」。東南アジアを中心に出会ったさまざまなヴィンテージの民芸品や古道具、山岳民族のヴィンテージジュエリーやテキスタイル、民族衣裳などが揃います。  
期間：11月3日(木祝)～12月26日(月)



2月にオープンした「VCM MARKET BOOTH」もさらに拡張

**VCM GALLERY (ギャラリースペース) 11月3日 (木祝) OPEN**

ヴィンテージプラットフォームVCM(Vintage Collection Mall) が運営するギャラリースペース「VCM GALLERY」。ヴィンテージの企画はもちろんのこと、VCMがセレクトする、ヴィンテージの概念と親和性のあるブランドやアーティスト作品などを、定期的に展開していくクリエイティブなスペース。

<初回は、「from Produced by Yu-min」> 11月3日 (木祝) ~12月4日 (日)  
オンラインヴィンテージショップ「from\_antique」、そしてヴィンテージ系YouTubeチャンネル“ゆーみん&きうてい”を運営する、ゆーみんプロデュースによる期間限定ショップ。期間中は「from\_antique」はもちろんのこと、ゆーみんが注目している新しい世代の古着屋4ショップが週代わりで同時出店。

11月3日 (木祝) ~11月9日 (水) : a.bout  
11月10日 (木) ~11月16日 (水) : Vieux et nouveau  
11月17日 (木) ~11月23日 (水祝) : comame vintage  
11月24日 (木) ~11月30日 (水) : Sweet heart jewelry  
12月1日 (木) ~12月4日 (日) : ゆーみん&きうてい

VCM  
GALLERY.

Vintage Collection Mall

■「VCM Vintage Collection Mall」

ファッション・インテリア・ライフスタイルの各ジャンルから、90店舗以上のヴィンテージショップが参加する日本最大級の“ヴィンテージ総合ECモール” Vintage Collection Mall (VCM) による、初のマーケット型のリアルショップ「VCM MARKET BOOTH」。ヴィンテージゾーンの商業施設常設は日本初の試みとなりました。

「VCM MARKET BOOTH」では、複数ショップが融合したマーケット型の店舗となり、VCMに参加しているショップはもちろん、個性溢れる様々なヴィンテージショップが定期的な入れ替えにて展開され、それぞれの放つ世界観を一つの空間として楽しめる複合空間となります。様々なショップが集まり、普段は手にすることのないジャンルの服に触れることが出来る機会となっています。

VCM  
MARKET BOOTH

Vintage Collection Mall

「VCM MARKET BOOTH」には「Iwaku Vintage」が11月1日 (火) NEWOPEN !

“日”では古着特有の“アク”を取り除いたセレクト。ただ派手なデザインの添削。ただ奇抜なデザインの添削。それなのに周りから一目置かれる“厳選された個性”ある一枚。“上品で、個性や癖”のあるセレクトを軸に貴方の個性やポテンシャルを存分に発揮するファッションをご提案します。





「サステナブル」を軸にした唯一無二かつ魅力的な5つのショップが登場し、他ショップと連動

渋谷PARCO4Fでは3つのテーマで「サステナブル」を表現。

- (1)「リユース/受け継ぐ」では、ヴィンテージインテリア&ウェアを提案する名店を導入。「Mid-Century MODERN」が「VCM」「Archeivis (SKWATゾーン)」と連動した『良いものを次の時代に受け継ぐショップ』として提案します
- (2)「リプロダクト/作り直す」では、裁断くずから再生糸・再生生地を作り直し洋服に再生産する「nest Robe/CONFECT」やリペアやリサイクルに力を入れる「Nudie Jeans」、「GMKR (SKWATゾーン)」と連動し、『廃棄されるものに再び命を吹きこむショップ』として提案します。
- (3)「ハンドクラフト/手仕事の重要性」では、福井県鯖江にて職人の手仕事でハイクオリティなアイウェアを作る「金子眼鏡店」や、若手クリエイターのインディペンデントあふれる洋服や雑貨をセレクトする「ニュースタア」を『手仕事のすばらしさを提案するショップ』として提案します。

Mid-Century MODERN (インテリア・雑貨) 11月3日 (木祝) OPEN



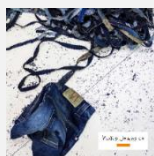
イームズ夫妻、ジョージ・ネルソン、エーロ・サーリネン、ヴェルナー・パントンなど、インテリアの黄金期ともいわれる1940年代～70年代のミッドセンチュリー期に活躍したデザイナーの家具や小物を扱うインテリアショップ。ミッドセンチュリーのアイコン的アイテムともいえるイームズのシェルチェアは国内屈指の品揃えを展開します。

金子眼鏡店 (メガネ) 10月21日 (金) OPEN



金子眼鏡は、昭和33年(1958)に眼鏡産地・福井県鯖江市に創業。鯖江の自社工場で製造される金子眼鏡をはじめ、伝統を継承する日本の眼鏡職人シリーズといった上質な日本製のアイウェアを、そこに内包された職人たちの情熱やこだわりのストーリーとともに世界に向けて発信します。金子眼鏡店は、使う人の心に寄り添って、作り手の想いまでお届けするメーカー直営店です。

Nudie Jeans (デニム・ウィメンズ・メンズ) 10月21日 (金) OPEN



2001年にスウェーデンで誕生したヌーディー・ジーンズ。デニムブランドとして初めて使用するコットンは全て100%オーガニックコットンに変更。フェアトレード、リビングウェッジなど人に関わる問題や、作り手の責任としてリペア、リサイクル、リユースの3Rの取り組みを行う。人と地球環境に配慮し尽くされたサステナブルブランド。渋谷PARCO店は躯体に手を加えず、全てアップサイクルな什器のみを使用。ヌーディー・ジーンズとエシカルな商品を揃え、環境に配慮したコンセプトショップです。

nest Robe / CONFECT (ユニセックス) 9月16日 (金) OPEN



nest Robe / CONFECT は、「SLOW MADE IN JAPAN」をコンセプトに、リネンをはじめとした上質な天然素材を使用し、心地よいサステナブルプロダクトを提供。また、洋服を作る過程において、どうしても避けられない「裁断くず」を活用したプロジェクトのUpcycleLino™シリーズをフルラインアップで展開します。

ニュースタア (アートギャラリー・アパレル) 10月1日 (土) OPEN



「アート作品を見るように買い物を楽しむ」をコンセプトに、studioBowlを内装デザインに迎えたアート感溢れる店内では、アートギャラリーや、複数のポップアップスペースを配置し、さまざまな取り組みを10日ごとに発信します。

SHOP TOPICS & EVENT

4F : CHOMPOO 美味しい新しいチョンプーのガパオライスは若鶏の親鶏を使用した逸品



CHOMPOO  
THAI CUISINE

未利用食材の活用などを通じて持続可能な食のありかたについて発信を続けてきた、森枝幹シェフがプロデュースするタイ料理店「CHOMPOO」。今回は若鶏の親鶏を使用したガパオライスが新メニューとして登場します。

森枝幹シェフ コメント

「やっと美味しい納得できるガパオができました！今まで日本でガパオを食べていて、ガパオ（バジル）の香りや調味料のバランスで美味しいなあと思ったことはあっても肉の旨味を直接感じられるような味わいの力強いガパオはありませんでした。今回のレシピで使用している鶏は、生産量もとても少なく、通常より10倍近く長生きさせていて、旨味食感ともにとっても満足いくガパオになっています。ソースに発酵ハラペーニョを使用し、辛さはお好みで調整頂けます。噛み締めるほど美味しい新しいチョンプーのガパオをお試しください」



■ 森枝幹氏 プロフィール

1986年生まれ。調理師専門学校を卒業後、オーストラリアへ留学。世界のベストレストランの常連「Tetsuya's」で料理の基礎を学び、帰国後は京料理の「湖月」、分子ガストロノミーで有名なマンダリンオリエンタルホテル内「タバスモラキチャーバー」で料理人としての修行を積み、2011年に独立。下北沢「Salmon&Trout（サーモン・アンド・トラウト）」のシェフを務めた後、2019年11月、渋谷パルコにタイ料理店「CHOMPOO（チョンプー）」をオープン。ほかにフードマガジンの発行や、レモンソーワ―専門店のプロデュースなど、従来の料理人に枠にとらわれず活動が続ける。現在はエシカルフードラボの有識者として、エシカルフードの普及に努めている。父は写真家・食文化研究者として知られる森枝卓士氏。

2F : RYE TENDER POPUP



RYE TENDERは、衣類になること無く捨てられてゆく糸や生地を使って製品を作るアップサイクルプロジェクトです。モノが生まれ、お手元に届くまでのプロセスを少しでも感じて頂き、どなたでも楽しく参加できる器を目指しています。今回は、これからの時期にピッタリな暖かいセーターの他、新作のカシミアストール・カシミアビーニー等の小物アイテムを展開します。

タイトル

- 会場 : 2F POP UPスペース
- 日時 : 2022年11月12日（土）～12月4日（日）

【本件に関するお問合せ】

パルコ広報事務局（株式会社ユニシナル内） 担当：羽切・日出・岸本・西野

E-mail : [parco@vectorinc.co.jp](mailto:parco@vectorinc.co.jp) TEL : 03-6821-5730 FAX : 03-5572-6065

株式会社パルコ 渋谷店営業課 深見 [fuka-sayu@parco.jp](mailto:fuka-sayu@parco.jp)

# SKWAT / TORU KASE / SHIBUYA PARCO 「419202122」「41329-231」

ここ数年、商業施設という場から人が離れている。  
それは客もテナントも同様に。  
その要因として、近年のデジタル購買行動に拍車がかかったことだと思われがちだが、  
本当にそれが一番の要因なのだろうか・・・。  
いや、私たちはそうは思わない。  
商業施設という巨大なフィジカル場にはまだまだ可能性が眠っているし、  
どこまでいってもリアルな刺激を皆求めている。  
ただ、それには従来の商業施設が採用してきた硬いシステムから脱却をし、  
どれだけ「非形式的」な取り組みに挑戦しながら  
自由な空気を纏えるかにかかっているのではないだろうか。  
人の心に響く音は、機械のような完璧な音ではなく、  
ミスもする可能性も含んだ生々しい音なのだ。  
今回のプロジェクトでは、その飽和した既存システムの改革から、  
フィジカルな場の在り方まで一貫したプロジェクトである。  
渋谷パルコが自らのその問題意識に真っ向から向き合い、  
長期的な取り組みをする協同者として実践していくこととなった。  
フィジカルな場作りにおいても、これまでのインテリアデザインのシステムから逸脱し、  
新たな場の価値をグラフィカルな面から紡ぎ出すため、  
グラフィックデザイナー 加瀬透と共に取り組むことに。  
どんな時代においても、何かの枠組みを逸脱する瞬間こそが、  
人の振り向く瞬間だと信じている。



## ● SKWAT

2019年に設計事務所DAIKEI MILLSを中心に発足。  
都市に存在する遊休施設や社会的隙間を時限的に占有し、様々な手法を用い一般に解放する運動。  
<https://www.skwat.site/>

## ● TORU KASE (加瀬透)

グラフィックデザインやエディトリアルデザイン等のデザインワーク、またグラフィックワークの制作・提供・展示を中心に活動。  
近年の展覧会に「2つの窓辺」(CAGE GALLERY | 2021)等。受賞歴にJAGDA新人賞2021等。  
<http://torukase.com>